

**中国・四国地区大学間連携フィールド演習 実施計画書**

授業科目名	(日本語) 酪農フィールド科学演習 ―乳牛を中心とした食農フィールド演習― (英語) Field Practice of Dairy Production -Field Practice of Food and Agriculture-																										
担当教員名	谷田 創	黒川勇三	都築政起、他																								
所属大学	広島大学	広島大学	広島大学																								
電話番号	082-424-7974	082-424-7973	082-424-7950																								
E-mail	htanida@hiroshima-u.ac.jp	yuzokuro@hiroshima-u.ac.jp	tsudzuki@hiroshima-u.ac.jp																								
授業形式	講義, 実習, 演習																										
単位	2 単位																										
開設期	令和4年 8月23日(火) ~ 8月26日(金)																										
開講場所	広島大学大学院統合生命科学研究科附属瀬戸内圏フィールド科学教育研究センター 西条ステーション (農場)																										
キーワード	酪農, 家畜, 乳牛, 食農教育, 環境																										
授業目標	統合生命科学研究科附属瀬戸内圏フィールド科学教育研究センターで, 乳牛などの家畜の飼養管理を通して食の生産の成り立ちについて学ばせることを目標とします。																										
授業内容・ 計画等	<p>統合生命科学研究科附属瀬戸内圏フィールド科学教育研究センター 西条ステーション (農場) では, 太陽の恵みを受けた大地で作物を作り, それらを飼料として家畜を繁殖, 育成させてミルクや肉, 羊毛を生産しています。またセンターは, 畜産物や水産物を加工する食品製造実験実習棟と動植物の精密実験圃場を有しています。酪農フィールド科学演習は, 本センターの施設を有効活用し, 農学系学生が草と家畜 (特に乳牛) と土の循環のなかで乳を生産して食品に加工していく過程を, 講義, 実習及び討論を通じて学び, 食と農および環境の関わり, 動物の福祉, SDGs などについて考える機会を提供します。</p> <p>※授業計画は新型コロナウイルス感染症の拡大状況や天候不良等の理由により, 開講の中止や内容の一部変更を行うことがあります。</p> <p>● 演習スケジュール (予定)</p> <table border="1"> <tr> <td>8/23</td> <td></td> <td>西条駅に集合, 農場へ送迎</td> </tr> <tr> <td>(火)</td> <td>午後</td> <td>ガイダンス, 農場見学, 課題研究の説明</td> </tr> <tr> <td>8/24</td> <td>午前</td> <td>家畜の飼養管理と搾乳作業 I, 乳牛の人工授精の実際</td> </tr> <tr> <td>(水)</td> <td>午後</td> <td>乳牛の行動観察, 人と動物の関係と動物福祉について考える, 課題研究発表の準備</td> </tr> <tr> <td>8/25</td> <td>午前</td> <td>家畜の飼養管理と搾乳作業 II, 牛の胃のしくみを探る</td> </tr> <tr> <td>(木)</td> <td>午後</td> <td>乳牛と肉牛の遺伝的特性, 牛乳の試飲とバターを作る, 課題研究発表の準備</td> </tr> <tr> <td>8/26</td> <td>午前</td> <td>班ごとに課題研究発表会 (質疑応答を含む)</td> </tr> <tr> <td>(金)</td> <td>午後</td> <td>西条駅へ送迎, 昼頃解散</td> </tr> </table>			8/23		西条駅に集合, 農場へ送迎	(火)	午後	ガイダンス, 農場見学, 課題研究の説明	8/24	午前	家畜の飼養管理と搾乳作業 I, 乳牛の人工授精の実際	(水)	午後	乳牛の行動観察, 人と動物の関係と動物福祉について考える, 課題研究発表の準備	8/25	午前	家畜の飼養管理と搾乳作業 II, 牛の胃のしくみを探る	(木)	午後	乳牛と肉牛の遺伝的特性, 牛乳の試飲とバターを作る, 課題研究発表の準備	8/26	午前	班ごとに課題研究発表会 (質疑応答を含む)	(金)	午後	西条駅へ送迎, 昼頃解散
8/23		西条駅に集合, 農場へ送迎																									
(火)	午後	ガイダンス, 農場見学, 課題研究の説明																									
8/24	午前	家畜の飼養管理と搾乳作業 I, 乳牛の人工授精の実際																									
(水)	午後	乳牛の行動観察, 人と動物の関係と動物福祉について考える, 課題研究発表の準備																									
8/25	午前	家畜の飼養管理と搾乳作業 II, 牛の胃のしくみを探る																									
(木)	午後	乳牛と肉牛の遺伝的特性, 牛乳の試飲とバターを作る, 課題研究発表の準備																									
8/26	午前	班ごとに課題研究発表会 (質疑応答を含む)																									
(金)	午後	西条駅へ送迎, 昼頃解散																									
成績評価	受講態度, 課題発表, 演習後のレポートで評価します。また, 演習中の集団生活において, 受講者の安全と健康にかかわる規則を守れない受講者は不可となります。																										
参考書等	「SDGs に向けた生物生産学入門」 (共立出版)																										
メッセージ	この演習を通して, ヒトと家畜との関わり, 食料生産の成り立ちなど, 農から食までの過程を講義と体験を通して学びます。酪農を中心として農業と食料生産に興味と熱意のある受講生を希望します。																										

履修上の注意

●受講人数：15名程度

本演習は毎年受講希望者が定員を大幅に上回るため、受講が認められた後のキャンセルは絶対にしないでください（受講を認められなかった方に大変迷惑となります）。事前に自分の予定と演習の日程を調整した上でお申し込みください。

●傷害保険：事前に学生教育研究災害傷害保険（財団法人日本国際教育支援協会）相当の傷害保険に加入してください。

●集合日時：令和4年8月23日(火)13時までにJR西条駅前（南口のロータリー）に集合してください。大学が準備したバスで農場まで送迎します。昼食は集合時間までに済ませておいてください。なお、演習最終日の8月27日（金）は昼頃にバスでJR西条駅前まで送迎します。

注）広大生は、令和4年8月23日(火)13時20分までに生物生産学部玄関前に集合してください。演習最終日の8月26日（金）は学部で解散します。

●受講経費：1万円（※大学負担）

●実費：2日目および3日目の昼食代（2000円以内）を現地で徴収します。また、集合場所（JR西条駅前）までの旅費、宿泊費、朝食代および夕食代は自己負担です。

●宿泊場所：受講確定後、こちらが指定した東広島市内のホテル（ビジネスホテル）のシングル部屋を各自で予約していただきます。ホテルから農場まではバスで送迎いたします。朝食および夕食（大学生協食堂）は各自でとっていただきます。

●持参物：医療保険証、マスク（ただし、作業中は別途作業用不織布マスクを配布します）、体温計、作業以外の時に着る動きやすい服（虫対策のため半ズボンやスカート等は不可）、帽子（サンバイザー不可）、水に濡れたり汚れたりしても構わない靴（サンダルやヒールのある靴は不可）、雨具（カップ）、筆記用具、洗面用具、タオル、身の回り品等。作業用のつなぎ及び長靴はこちらで用意します。

※持ち物の詳細については受講者が確定し次第、個人宛にメールで案内しますので、常時連絡の取れるメールアドレスを正確に記入してください。また、その際につなぎ及び長靴のサイズの確認と海外渡航歴の確認をしますので、必ず返信してください。メールでの連絡の際には必ず氏名と所属大学を明記してください。

●注意事項：

①新型コロナウイルス感染症の拡大状況、災害の発生や天候の状況（台風等）によっては開講の中止や内容の変更もあります。

②受講2週間前から毎朝の検温を必ず実施してください。受講前日までに体調に異変（37.5℃以上または平熱から1℃以上高い場合、倦怠感、咳、息苦しさ、喉の痛み、頭痛、嗅覚・味覚異常のどれかひとつでも該当するとき）がある場合は、演習の受講を取り止めていただきますので、必ず所属大学学生係、広島大学生物学系総括支援室、広島大学大学院統合生命科学研究科教授（谷田 創）まで連絡してください。

③家畜伝染病（口蹄疫）の予防措置のため、演習日前の2週間以内に海外渡航を予定しておられる方については受講を認めない場合がありますので、受講を申し込まれる前に問い合わせてください。特に演習日前の2週間以内に口蹄疫発生地域（中国・韓国等）からの帰国を予定されている方は受講できません。帰国がこれらの期間より前であっても、海外で使用した衣服や靴を農場内に持ち込むことはできません。さらに、本演習前に国内の家畜農場や家畜関連施設（食肉センターを含む）に立ち入られた方またはその予定のある方も事前にご相談ください。

④演習中は決められた場所以外への出入りはできません。演習期間中の移動は送迎バスを利用します。

⑤広島大学構内（農場を含む）および宿泊施設は全面禁煙です。

●欠席・遅刻の通知方法：やむなく欠席・遅刻する場合は1週間前までに所属大学学生係および広島大学生物学系総括支援室まで必ず連絡をしてください。

【問合せ・連絡先】

・ 広島大学生物学系総括支援室

〒739-8528 東広島市鏡山1-4-4 TEL：082-424-4323

E-mail: sei-gaku-sien@office.hiroshima-u.ac.jp

・ 広島大学大学院統合生命科学研究科 教授 谷田 創

〒739-0046 東広島市鏡山2-2965 TEL：082-424-7994

E-mail: htanida@hiroshima-u.ac.jp